

高度医療機器等の紹介



■外科用X線テレビ装置

- ・台車を動かすことなく、アームの部分がスムーズに前後左右に直線的にスライドすることで位置決めが行え、操作が従来の装置より簡単になった。
- また、今まで見にくかった部位（腰を横から撮影するときなど）もよりきれいに撮影することが可能になった。



■一般撮影装置

- ・従来より短時間の撮影が可能になり、患者の動きによる画像のブレが低減する。
- また、インバータ方式を導入しており、患者の被爆線量も低減され、安全な医療提供が図れる。
- ・電動で昇降する臥位撮影台が設置され、今まで撮影ベッドが高くて、乗り降りに苦労された患者は、ベッドが電動で昇降するので、負担がなくなった。



■陰圧式エアートtent

- ・空調コントロールシステムにより、陰圧陽圧換気を行え、HEPAフィルター、活性炭フィルター、紫外線殺菌にて空気洗浄され、安全な環境を構築できる。
- また、1時間に12回以上の換気が行え、2次汚染等を低減できる。
- ・二重天幕のため、室内の密閉度が高く、断熱効果も高い。
- また、冷暖房装置が取り付けられているため、快適な住環境を保つことができる。



■人工呼吸器

- ・操作兼モニターは12型のカラー液晶で、タッチパネル方式であり、作業が行いやすい。
- ・4種類以上の波形及びびるぷ波形を表示できる。
- ・小児から成人の患者に使用可能な換気モード機能を有している。
- ・停電時は30分以上のバッテリー操作が可能である。



■患者監視装置

- ・重症患者の心電図、呼吸曲線、脈波形、心拍数、呼吸数、血圧値、脈拍数などの生体情報をナースステーションから常時確認できる。
- また、最大16床分までの監視増床が可能になった。

薩摩郡医師会の

海江田会長に聞きました

Q 地域医療の現状について

当地域は代表的な医療過疎地域になっていますが、病院スタッフや行政の協力、そして川内市医師会との連携がうまくいっており、町民の方々が困らない程度の医療は提供できると思います。しかしながら油断は禁物で、人的にも今がギリギリの状態だと思っています。

Q 全国的な医師不足について

医師不足の意味については様々な捉え方がありますが、開業医の先生方はいらっしゃいますが、急性期の患者に対応する「医師不足」と捉えた方が良いと思います。急性期の患者の場合、高度な医療機器を用いて診察することが要求されますが、そういう機器を使いこなす「医師不足」が今後、益々深刻化すると思われます。



薩摩郡医師会 会長 海江田 康光さん

Q 医師不足の解消について

非常に難しいことだと思います。2004年の新研修医制度の施行により、これまで医大などの卒業生が大学で研修することが主でしたが、一般の病院でも研修が可能になりました。そうすると、待遇面を含めて、都市部への流出が加速しました。

今後は、都市部に居る郷土出身の医師の方々に声をかけ、帰郷を促すなどして、少しでも解消の糸口を探りたいと思います。

Q 今回の高度医療機器等の貸与について

今回の貸与は非常にありがたいことです。永年の要望がやっと、かなったと思います。

Q 当地域での急性期医療を守るため、町に要望などがありますか？

今後とも機器等の支援もですが、医師不足に対する直接的な支援な

ど講じていただければありがたいと思います。

薩摩郡医師会病院は、準公的病院だと思っています。他市町の公的病院は赤字を公費で賄えますが、当病院の場合は自力で運営している状況です。行政からの今後、更なる支援を期待したいと思っています。

Q 町民の方々への願いはありますか？

今とはかく、大病院志向が強いと思います。大病院と開業医の先生方とは役割はそれぞれ違いますが、医師としての力量の差は無いと思います。

まずは、地元の「かかりつけ医」に相談していただき、適切なアドバイスを受けていただきたいと思います。

また、今流行中の「新型インフルエンザ」について、去る10月15日には、発生を想定した訓練も行いましたが、万が一、当地域に流行の兆しがみえたら、医療機関、行政、町民の方々が一体となって蔓延を防ぐなど、お互いが一致団結した協力体制を心掛けてくださいますよう、協力をお願いしたいと思います。